

「国分小学校の文化財探求学習～舞鶴探検隊～の取組」

1. 学校名	霧島市立国分小学校
2. 学年・人数	6年生 122人
3. 日時・場所	(1) 事前学習 令和7年4月22日(火) 15時10分～15時55分 体育館 (2) 史跡探訪 令和7年5月2日(金) 8時30分～11時25分 学校周辺 (3) 学年発表会 令和7年7月1日(火) 14時10分～14時55分 体育館
4. 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について	(1) 名称・時代 大隅国分寺跡(おおすみこくぶんじあと)：奈良時代 舞鶴城跡(まいづるじょうあと)、島津義久墓所(しまづよしひさぼしよ)、朱門(あかもん)、金剛寺跡(こんごうじあと)他：江戸時代 (2) 特徴等 国分小学校近くの大隅国分寺跡は、「国分」という地名の由来となった史跡である。また、国分小学校は舞鶴城跡に建てられており、周辺には舞鶴城築城の中心となった島津義久に関係する史跡が散在する。本学習は、身近に存在する郷土の歴史・文化財について学習した国分小学校の児童が、校区の歴史を誇りにし、語り継いでいく学習活動である。
5. 活用の取組において地域との連携や工夫した点等	(1) 地域との連携 霧島市国分の歴史に詳しい鈴木順一氏と連携した。学校職員との打合せ、事前学習、史跡探訪フィールドワークという過程の中で学習に臨んだ。鈴木氏は専門性が高く経験も豊富であり、分かりやすい説明と児童の質問への丁寧な対応が見られた。 (2) 工夫した点 事前学習において、鈴木氏からいただいたスライドや冊子等の資料を基に学習し、郷土に対する興味や関心を高めることに努めたため、実際のフィールドワークを行うための意欲付けとなった。また、フィールドワークでは、実物にふれることによって一層意欲を高めることができた。さらに、学習したことをまとめ、学年全体で発表会を行ったことで、より郷土の歴史に関する知識を深めることができた。
6. 取組の様子(研究発表等)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>史跡探訪</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>学年発表会</p> </div> </div>
7. 感想・意見(参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	○ 史跡探訪を通して、いつも当たり前に見ている史跡にも歴史があり、物語があると思った。また、地域の歴史について知ることは、今を生きる私たちにとって大切なことであると思った。【児童】 ○ 地域の歴史的な施設について、調べたり探訪したりすることで、児童が地域の歴史を身近に感じ、歴史への意欲が高まることが考えられる。今後も地域人材を活用し、学習を深めたい。【教職員】